



### 人権尊重への取り組み

ニチレイグループ人権方針 <https://www.nichirei.co.jp/corpo/management/humanrightspolicy.html>

ニチレイグループでは、研究開発、調達から、商品・サービスの提供に至るまでの事業活動が、潜在的あるいは実際に人権への影響を及ぼす可能性があることを理解し、「ビジネスと人権に関する国連指導原則」に従って、ニチレイグループの事業活動に関係する人権への負の影響を特定、予防、軽減するためにデューデリジェンスを実施しています。

### 外国人技能実習生・特定技能への人権デューデリジェンス

2022年10月から11月の2カ月間にわたり、NPO法人経済人コー円卓会議日本委員会のサポートをいただきながら、ニチレイグループで働いている外国人技能実習生と外国籍の特定技能の方が、心身ともに健やかに安全で充実した日々を過ごすことができているかを確認するため、ダッカ原則<sup>※</sup>に沿って実態調査を行いました。

※ 責任ある移住労働者の募集および雇用のための原則

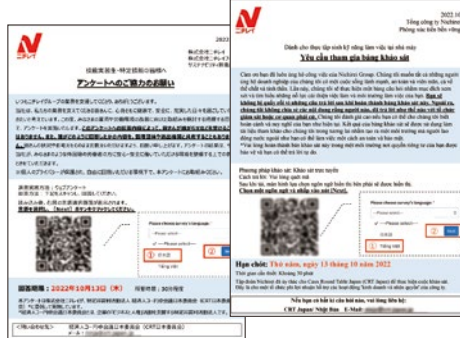
対象者	ニチレイグループで働く外国人技能実習生、特定技能
調査期間	2022年10-11月
実施方法	①ウェブアンケート ・対象：対象者が在籍する全食品工場 ・日本語以外の母国語（ベトナム語、中国語、インドネシア語）での回答が可能 ②インタビュー ・対象：一部の食品工場 ・インタビュアー：CRT日本委員会 石田氏

### 調査結果と課題点について



特定非営利活動法人  
経済人コー円卓会議(CRT)  
日本委員会  
事務局長  
石田 寛

CRT日本委員会では、人権尊重の取り組み(人権デューデリジェンス)として、外国人労働者を対象に、ダッカ原則に基づいたアンケート調査やインタビューを第三者機関の立場で実施しました。その結果、継続してニチレイの一員として働きたいとするコメントが多々あり、深刻な人権侵害は見受けられませんでした。ダッカ原則1の「採用時の支払有無」に関しては、個人差があるものの、かなりの金額に達していることが判明しました。ニチレイグループとしてはさらなる外国人労働者との信頼基盤を確立していくためにも、外国人労働者が採用時に支払った金額の実態を把握し、経営層を巻き込んだ形で具体的な施策が講じられることを期待します。



ウェブアンケートへの回答協力依頼  
文書(日本語・ベトナム語)



食品工場でのインタビュー

### Sedexに加入する食品・飲料業界10社によるワーキングチーム結成 サプライチェーンにおける人権デューデリジェンスの推進を目指して始動

[https://www.nichireifoods.co.jp/news/2022/info\\_id14398](https://www.nichireifoods.co.jp/news/2022/info_id14398)

ニチレイフーズを含む食品・飲料業界10社は、加入する「Supplier Ethical Data Exchange (以下、Sedex)」において「食品&飲料業界のバイヤー会員Sedexワーキングチーム」を結成しました。食品&飲料業界内でのSedexの共通活用推進と標準化の働きかけ、およびサプライヤー企業に対するSedex合同説明会の実施(2023年1、2月実施)、商社機能を有する企業への説明会実施(2023年7月実施)など、加入促進の働きかけなどを行ってまいります。

(注)ニチレイフーズは、グローバルサプライチェーンにおけるエシカルかつ責任あるビジネス慣行の実現を目的に活動する非営利団体Sedexに2019年7月から加入しています。2021年度に国内のすべての自営投資工場がSedex「SMETA監査」を受審しています。

経営戦略／  
価値創造ストーリー

中期経営計画／  
事業戦略

サステナビリティ／  
人財

ステークホルダー

ガバナンス／  
リスクマネジメント

ファクトデータ